窓 MADO

No.161

2016

七ツ森冬景色　撮影　石川 眞郎氏

－ 目 次 －

年頭のご挨拶　2

第３回国連世界防災会議に参加して　3

第 58 回建築士会
全国大会「石川大会」に参加して　4

支部だより

登米支部　4

仙台支部　5

委員会だより

建築技術委員会　6

総務・企画委員会　6

会員・業務委員会　7

事務局からのお知らせ　7

季節の写真展　8

編集後記　8

年 頭 の ご 挨 拶

宮城県建築士会
会長　砂金隆夫

平成 28 年新玉の春を迎へ謹んでご挨拶を申し上げます。

会員皆様には旧年中に賜りました御支援に感謝申し上げるとともに、本年も変わらぬ御協力を切にお願い申し上げます。

さて、昨年３月に仙台市で開催されました「国連世界防災会議」において、宮城県建築士会会員が地震発生以降に行動した事例と至る経緯について報告をいたしました。開催期間中に発生した「ネパール地震」で日本の応急危険度判定方法が実施されていることを映像で見て、感慨を新たにしました。

被災地を振り返り見ますと、JR 仙石線や石巻線が全面開通し女川駅が開業しました。災害公営住宅も順調に建設工事が進み、全体の４０％を超えるところまで達しています。自力再建住宅の建設も着々と進み、上棟式の幟が浜の風景となっています。

公共工事においても南三陸町の総合病院の移転新築完成開設、水産加工場の建設、各種学校の新築および改修等、各種整備が目に見える形で進んでいます。
これらには多数の士会会員が技術を発揮し努力を重ねていることに敬意を表します。

しかし、住宅着工件数は依然として横ばい状態にあり、県民経済が低成長状態であることを意味しています。

平成２６年に建築３団体が共同提案し成立した、建築士法および建築基準法が２７年６月から施行され、講習会が３会共同で開催されました。今後とも各種事業においても団体との共同での開催を目指してまいります。

平成３２年に届け出義務化される「２５年省エネ基準」も会員各位においては、積極的に技術取得に励んで頂きますよう願っております。

「空き家対策事業」も一部市町村では協議会の設立準備に入っていますが、建築士会にも協力を要請する働きかけがありました。建築士会では本年度から、既存住宅の検査業務に携わる技術者（インスペクター）の養成に着手しました。活躍の場が広がることと思いますので、会員各位においては、だき是非受講して頂きますようお願いします。

２７年１１月２９日には、仙台支部と新潟県建築士会北蒲原支部との連携協定締結式が行われ、今後の交流の活性を確認しました。
いま、宮城県建築士会は様々な問題を抱えています。会員一丸となってより良い建築士会を築いていきますようお願いします。

最後になりますが、会員皆様と御家族の今年一年のご健勝ご活躍を祈念し、新年のご挨拶とさせて頂きます。

開運隆昌・商売繁盛

黄金山神社

国指定史跡日本初産金地
涌谷町鎮座
延喜式内社黄金山神社

祭事
元　旦　祭　1月1日　午前 1時斎行
祈　年　祭　2月17日　午前11時斎行
例　大　祭　9月15日　午前11時斎行
新穀感謝祭　11月23日午前11時斎行

遠田郡涌谷町涌谷字黄金宮前23
社務所電話 0229-42-2619
（涌谷神社社務所内）

伊達騒動忠心伊達安芸公奉祀神社
2020年　遷座100年祭

涌　谷　神　社

祭事
元　旦　祭　1月1日　午前 0時斎行
例　大　祭　4月27日　午前11時斎行

各種お祓い、地鎮祭、上棟祭お受けいたします。

遠田郡涌谷町涌谷字下町
社務所電話 0229-42-2619
宮司　一條明美
禰宜　一條裕太郎

第３回国連世界防災会議に参加して

砂金　隆夫

2015 年 3 月 14 日から 18 日まで標記の国際会議が仙台市で開催された。市内各地で数々のパブリックフォーラムが開催され、世界各地から訪れた政府関係者や研究者に、東日本大震災に関する数々の取り組みが紹介された。建築関連５団体は、「いのちを守るまちづくり／家づくり」をテーマにパブリックフォーラムを開催し、会場の仙台市民会館は立ち見ができるほどの盛況であった。

このフォーラムでは、研究者や各国自治体関係者に対し、地震発生直後から現在までの「防災･減災、復旧、復興」に係る取り組みを紹介し、建築に従事する研究者や専門家がどう行動して、どのような教訓を得たかが議論された。

＜宮城県建築士会発言要旨＞

1. 被災建築物応急危険度判定制度と判定士

応急危険度判定制度は、1995 年「阪神淡路大震災」での実状をもとに 1996 年に制度が発足した。宮城県では近い将来来るべき宮城県沖地震に備えて、1995 年 6 月 18 日「宮城県被災建築物応急危険度判定要綱」が制定された。

2. 宮城県における応急危険度判定の実施例

制度発足後東日本大震災までに実施した応急判定は以下の通りである。

【鬼首群発地震】

平成８年８月に発生した。宮城県と秋田県の県境部分で発生した地震で、現在の大崎市鳴子温泉鬼首地区に被害が集中し、実施された応急判定は、制度発足後我が国初の実施例で、宮城県職員と宮城県建築士会大崎支部会員で実施したが、初めての体験で手探り状態での判定業務であった。

【宮城県北部連続地震】

平成 15 年 7 月 26 日の一日間に、震度６弱を越える地震が３回を記録した連続地震である。被災地は旭山の東西に位置する農村部で、湿地帯が多く農地と住家が混在している地域である。いたるところで液状化現象が各地で確認された。

【平成 20 年岩手・宮城内陸地震】

岩手・宮城内陸地震は、栗駒山を中心に山体崩壊や土砂崩れ、河道閉塞、土石流等の土木被害が大きく、建物被害は比較的小さかった。

3. 宮城県建築士会の事前準備体制

連絡体制の構築とマニュアル作成

4. 東日本大震災での活動報告

塩竈市、栗原市、涌谷町の避難所及び被災建築物応急危険度判定実例紹介

5. これからの被災建築物応急危険度判定

全市町村対象のアンケートから、「宮城県地域主導型被災建築物応急危険度判定体制」を構築、宮城士会の取り組みが評価された。

第５８回 建築士会全国大会「石川大会」に参加して

栗原支部長　白鳥 淳

「百万石の地で触れよう未来につなぐまちづくり」をテーマに全国大会が１０月３０日に開催されました。北陸特有の天候（雨、晴れ、曇りがめまぐるしくあらわれる天気）の中、金沢駅前石川県立音楽堂を会場に１３時からの記念講演１５時より大会式典に参加しました。

記念講演は前金沢市長の山出保氏による「伝統と文化のまちづくり」をテーマに伝統環境、伝統文化の保存と新たな文化の創造、革新の二律相反する金沢の宿命に関し講演されました。一時間半に及ぶ講演の結びに「醜いと感じられる町すべてに共通するもの、それは自然への無関心、歴史への無関心そして住民の住み心地とか、安全に対する配慮のなさである」と氏は我々に対し啓蒙しております。金沢そして会場の音楽堂には個人的に数回来ておりますが、まさに一種独特の金沢伝統文化と新しい文化とが融合された魅力的な街であります。不易の伝統を守る難しさや苦労を感じさせられる反面、伝統が文化として残っているうらやましさを考える貴重な時間でした。

大会式典は石川士会照田会長による「全国の建築士の皆様にこのまちをご覧いただき、過去から未来につなぐまちづくりに共感し味わっていただきたい」の歓迎のことばは、金沢で仕事をしている自負、自信にあふれた誇りを感じさせられる挨拶でした。又、連合会長賞等受賞者の皆様おめでとうございました。

栗原支部からは私を含め会員１２名が参加しましたが、例年設営されている協賛企業展示会場や物産展が、駅前という立地条件のせいか設営されず、他士会会員との身近な交流が出来ず寂しい思いがしました。これからは「大交流会」までエントリーしなければいけないのかなと考えさせられました。支部会員同士の交流は金沢の街の文化を乱さぬ程度の盛り上がりがあったことは言うまでもありません。次年度は大分大会、是非参加すると約束をし帰路につきました。

「支部だより」

登米支部

武蔵　寛亨

“切迫”第48回県北ブロック会議･球技大会開催

平成27年10月8日(木)砂金会長を来賓に迎え、登米支部担当で県北ブロック会議が開かれました。残念ながら石巻支部が欠席でしたが、県北ブロック６支部が集まり予定時間を大幅に超える熱い意見交換等が展開された。

問題点は各支部どこも同じ、若い世代の入会もないまま､会員の高齢化とともに会員数が少なくなり、尻切れとんぼとなってきている。その中には、支部そのものがなくなり解散となる時期が訪れている。といった報告も有り、どの支部も人事ではいられない､そんな切迫した状況と確信した次第です。また、そういった時期なので､県とは別に県北ブロック（7支部）に事務局を置いて支部末端にまで行き渡る活動等、県北ブロックならではのものが出来ないだろうか。各支部が活動できる手助けが出来ないのか。そのための事務局を。との意見も出るなど、少しは光が見える会議となりました。

今般のブロック会議だけでは終われないと、県北ブロック新年会を来年の1月30日登米市佐沼ホテルサンシャインで開催することも決まりました。この新年会は役員だけではなく、一般会員を多く集めて皆と語り合い、これからの活動を有意義なものにして行こうとの新年会の開催です。

その後の球技大会は、グランドゴルフで楽しみ、本日の慰労会では､グランドゴルフどころではない、“らずもねえ”おもしぇがった有意義な１日でした。

仙台支部

平成 27 年度・第 23 回福祉キャラバン隊実施報告

仙台支部 ボランティア部会　　西條　由紀子

仙台支部が中心となって行っている､｢福祉キャラバン隊｣は 23 回目となりました。今年はシルバーウィーク初日の９月 19 日（土）に実施しました。

例年通り、７月に河北新報にお知らせ掲載、申込募集、そして２回の実行委員会を行い、作業班及び分担、事前現地調査などを進めました。今年の申込軒数は 22 軒、実施軒数が 20 軒で、各班２軒から３軒の作業分担で行われました。

「介護認定を受けられる程ではないが、足腰が弱ってきたのでケガ予防に手摺が欲しい」､「介護保険は手摺以外の改修に使いたい」など申し込みされる方の目的は様々ですが、どなたも安全な住環境にして、安心に暮らしたいとの思いが伺われます。手摺の他、家具転倒防止金物や火災報知器の取付など、安心して生活できる住環境整備のお手伝いもこの企画に取り入れています｡年に１日だけの企画ですが､｢建築士会｣を知って頂く良い機会になっていると思います。

今回も建築士会員の他、仙台市健康福祉局、仙台工業高校、石巻工業高校の先生、生徒の皆様そして、一般の方の参加もあり、総勢 50 名を超えました。お忙しい中ご参加ご協力、誠にありがとうございました。誌面をお借りして感謝を申し上げます。

『実施状況』

１. 作業班数　９班（３～８名構成）（本部・事務局含参加総数；53 名）

２. 実施軒数　20 件（内訳　手すり；17，手すり＋家具；2、家具；１）

今後の参考にする為に、申込者と参加者から当日アンケートを行っています。

参考までに、寄せられたご意見を抜粋、要点を掲載させていただきます。

１. 申し込み者への聞き取り

○この企画を何で知ったか　　河北新報 ‥‥20

○申し込む動機　　安全対策に欲しいと思っていた ‥‥ 4

最近大変になり必要性を感じた ‥‥14

○建築士会を知っていたか　　知っていた ‥‥‥‥ 2

知らなかった ‥‥‥17

２. 参加者からのご意見

○苦慮した点

・ビス留めが難しかった。　・現場が狭く大変だった。

・廻り階段の手すり取付に時間が掛かった。

○改善や工夫すべき点

・下地の状況等、事前調査を冷静、念入りに行うことが大事。

・作業を理解し、人員の配置、工具なども適材適所に効率よく。

○今後の活動に対して

・申込軒数を増やすため、マスコミの活用、近所への声掛け、口コミなどで広報する。

・建築士会員へもっと周知し、参加を働きかける。

以上報告致します

「委員会だより」

■建築技術委員会報告

委員長　青木　司（大崎支部長）

今年度も「建築士定期講習」（141 名受講・法定講習会）をはじめ「改正建築基準法の解説」講習会（大崎会場 45 名、仙台会場 38 名）「改正建築士法講習会」（県南会場 32 名、県北会場 60 名）と無事開催することができました。

12 月 9 日には「インスペクター養成講座」が初めて開催され、長期優良住宅化リフォーム推進事業の幅広い技術習得や消費者への信頼性をアピールするための講座に多くの皆様の受講をいただきました。また、年明け早々には応急危険度判定技術者講習会が大崎、仙台を会場に行われます。東日本大震災において多くの民間判定士ボランティアの協力のもとに被災建築物応急危険度判定が実施されたことは記憶に新しいことです。是非この機会に判定知識と技術力の向上にご活用下さい。

1 月 30 日（登米支部主管）第 2 回県北ブロック建築技術講習会が開かれ、その後「県北ブロック合同新年会」も企画しています。さらに 2 月 23 日仙台、3 月 4 日石巻にて建築工事の「監理技術者講習」が行われます。実務に役立つ充実した内容の講義です。この機会に多くの建築施工系監理技術者の皆様の受講をお願いいたします。

平成 27 年度へリテージマネージャー養成講座と大工塾の技術講習・実技指導スケジュールも関係者各位の皆様のご尽力によりまとめの段階です。私たちのまわりにある残しておきたい風景や建物、それらを支えてきた匠の技と知恵を学び、後世に伝えるべく「建築士である職能と責務」において、何らかのかたちで今後も関わっていきたいと思います。次年度も建築技術の自己研鑽に必要な各種講習、セミナーの要望ご提案を頂ければ委員会として取り上げていきたいと思います。

■総務・企画委員会報告

委員長　作間 正孝

２０１６年の輝かしい新年を迎え、皆様のご清福をご祈念申しあげますとともに、会員の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

総務企画委員会の中での重要な問題は、人口減少や高齢化の時代になり、会員の減少が続いておりますので、宮城県建築士会が生き残る方策として、会費だけで運営するのか、事業収益になるものを探すのかなど、硬直した会にならないために基本的なことも含めて会議が行われております。

建築士が全国で１００万人いるとも言われていますが、いかに会員を掘り起こすか、事業所会員や家族会員として入会してもらう方法、又、若い人が講習会や会議など参加しやすい曜日にするなど、活動しやすいように設定することも必要だと思っています。

我々を守ってくれる建築士法が改正されました。建築士会に入会し色々な活動に参加し建築技術をみがき続けることが建築士会のメリットかと思います。復興の仕事をはじめ、今年も会員の皆様のさらなるご活躍をご祈念致します。

頑張ろう東日本!復興応援企業

建物調査・修繕計画・改修企画提案・見積
新築・増築・改築 設計施工　建築一式工事

一級建築士事務所宮城県知事登録　第 11X10180 号
アクトユー宇工房一級建築士事務所
建設業宮城県知事登録（般－24）第19324号
一般建設業 株式会社　ア ク ト

株式会社　ア ク ト
代表取締役　岡 本 宇 京
〒981-3212
仙台市泉区長命ヶ丘二丁目５番地の２３
TEL　022－344－7204
FAX　022－777－7205
携帯　090－8788－1287
E-mail　act-u@fork.ocn.ne.jp

■会員・業務委員会報告　　担当副会長　中居 浩二

会員・業務委員会の本来の目的は、会員の親睦、交流に関する行事や建築相談に関する事項を担当するとされています。

建築相談については様々な依頼を受けて、他の建築関係団体とともに実施して来ました。特に東日本大震災以降の災害からの復興・復旧のための住宅再建に係る相談会については、宮城県建築士会でも大きな役割を果たしており、今後も継続して実施対応して行きます。その他の特筆すべき活動としましては、一昨年の第５７回建築士会全国大会「ふくしま大会」に於ける大会アピールで、

①東日本大震災の復興推進への取組み。

②改正建築士法を踏まえ、資格者としての業の適正な執行等。

③建築士会の会員増強と財政基盤の安定化。

以上の三つの宣言がありました。

宮城県建築士会に於いても三つ目の提言にある会員増強のための活動を行っています。そのための施策として、企業に複数存在する建築士に対する会費の減免策を講じ、１１月を会員増強月間として各支部ごとに取り組んでいただきました。この会員増強については今後も継続的に取組み財政基盤の安定化を図ります。その他の必要な活動についても随時実施致します。

建築施工に従事する監理技術者のための

建築工事の「監理技術者講習」ご案内　CPD6 単位認定

(公社)日本建築士会連合会は、建設業法第 26 条第４項に基づく法定講習である「監理技術者講習」の登録講習機関として平成 27 年６月 22 日付けで国土交通省から登録を受けました。

これにより宮城士会が実施協力を行い建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催します。特に、一級建築士、1 級建築施工管理技士、1 級電気工事施工管理技士、1 級管工事施工管理技士等の**「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」**におかれましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行いますので是非ご受講ください。

●開催日　平成 28 年２月 23 日（火）仙台会場　9：00 ～ 17：00（受付８：３０～）
　　平成 28 年３月　４日（金）石巻会場　　同　上

●会　場　(仙台)：仙台市宮城野区二十人町 301-3　宮城県建設国保会館　６階
　　(石巻)：石巻市元倉 1-8-6　元倉会館

●受講料　9,500 円 (WEB 申込みの場合)（消費税、テキスト代、講習修了証代込）
　　10,000 円 (郵送・窓口申込みの場合)（　　同　上　　）

●申込み方法等のお問合わせは 本会事務局までお願いいたします。　TEL　022-298-8037

＜季節の作品展＞

二才ふたつ　撮影　石川 眞郎 氏

＜編集後記＞

新年あけましておめでとうございます。
昨年は広報委員会を年６回開催し、「窓」及び新しいホームページの作成に取り組んできました。
ホームページはこれまで以上に会員の皆様に活用してしていただけるよう改善したつもりですが、一度皆さんが使ってみてください。より良いものにするため会員皆様のご意見や要望をお聞かせ願います。
また、会員皆様の作品や宮城県内の紹介したい建築物等ございましたら、どしどしお送り願います。
本年もより良い建築士会になりますよう、よろしくお願いいたします。

広報委員会　今野 榮一

あなたの街の生コンクリート
TAIHAKU
株式会社タイハク
〒981-1241
宮城県名取市高館熊野堂字今成西 37 番地
Tel.022-397-8688 Fax.022-281-0845
受注専用
Tel.022-281-0420

角田市･丸森町･山元町･柴田町･白石市　給水、下水工事指定店
株式会社 斎藤管工
水回りのこと、リフォームなどお気軽にご相談ください。
設計・施工・保守
上下水道・住宅機器設備
冷暖房・空調衛生設備、冷媒回収
ステンレス配管･ステンレス製品加工
プラント設備
サニタリー配管・特殊ガス配管
〒981-1503 宮城県角田市島田字稲場前４６番地
TEL（0224）62-1506　FAX（0224）63-2768